

OpenChain Workshop @ELC-E/OSS-E **報告 (後半)**

Panasonic Corporation

加藤 慎介

kato.shinsuke@jp.panasonic.com

- **OSSコンプライアンスについて (Sony 上田さん)**
 - Japan Workgroup で発信されたリーフレット作成の件
 - 対峙する他社・関係する他社に対して、OSSコンプライアンス順守をどのようにアプローチするか？
 - 議論では、プロセス vs 実ソリューション、な面も
 - 企業で実務を担当しているようなメンバーからは、同じようなものが欲しい、という同意あり
 - この方はドイツの企業

・その他の話題

(Workshopの内容以外で、Shane氏との会話のなかで、本日共有してOK、と確認したものを含む)

- 紹介

- ・ 東芝がOpenChainのプラチナメンバーになったことが紹介された
- ・ SUSEがConformanceを取得したことが紹介された

- ケーススタディの今後について

- ・ 社内のプロセス面、特にコードのContributionやOSS化、について、事例集めを考えたい (Shane)

- その他

- ・ 次はインドのある企業がConformance取得を進めている
- ・ 12月6-7日のOpen Compliance Summit @横浜、の開催紹介
- ・ 2019年3月12-14日@CA 開催の Open Source Leadership Summit にあわせてOpenChainのWorkshopや会合などを企画予定

- Workshopの音声データ

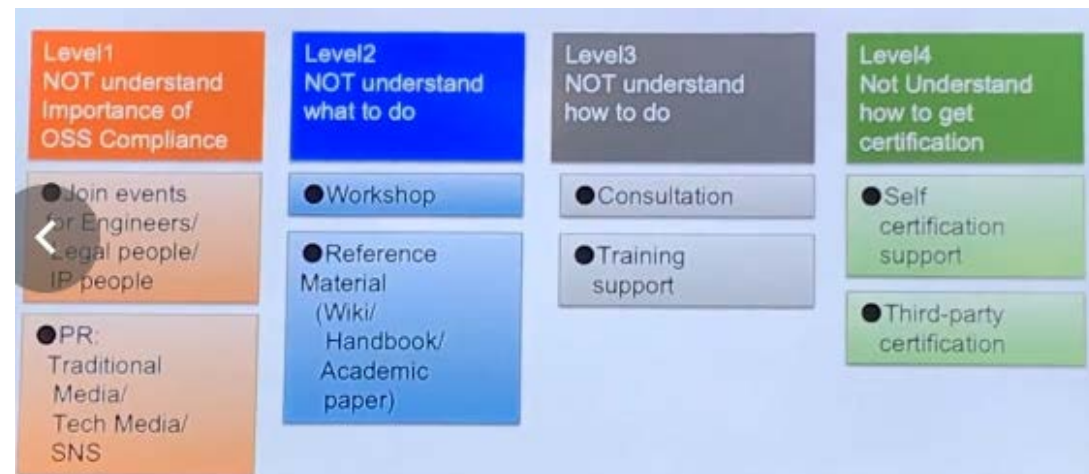
- ・ <https://www.youtube.com/watch?v=wrVAezhWWrc&t=749s>

- 10月22～24日で下記の3つのカンファレンスが共催。
参加登録者2,000人。約15個のセッションが並列開催
 - Embedded Linux Conference Europe
 - OpenIoT Summit Europe
 - Open Source Summit Europe
- このなかで「Open Collaboration Conference」という種類があり、毎日1～2 Trackが関連するセッション。
ここから数点紹介します
 - Keynoteと一部のSessionはYoutubeにあります
 - <https://www.youtube.com/playlist?list=PLbzoR-pLrL6qThA7SAbhVfuMbjZsJX1CY>
 - 一部のスライドはLFのサイトにあります
 - <https://events.linuxfoundation.org/events/open-source-summit-europe-2018/program/slides/>

- **Title : Best Practices and Lessons Learned Using GitHub for Corporate Open Source**
- **Speaker : Charles Eckel, Cisco (Cisco DevNet)**
- **概要**
 - **Cisco内でGitHubをどのように運用しているか, の紹介**
 - **さまざまな検討事項**
 - **Owner, Administrators, Memberを管理するか**
 - **GitHubは子組織の仕組みがない**
 - **Public vs Private**
 - **Memberにrepo作成権限を与えるべきでない**
 - **Cisco以外のContributorをどうするか**
 - **ライセンスとコピーライト (BSD 3-clause と Apache 2.0 を推奨)**

- **Title : Gaining Maturity in Open Source – A Model Cased on Sony Mobile’s Journey**
- **Speaker : Carl-Eric Mols, Sony Mobile**
- **概要**
 - **Sony Mobile のOSSの歴史**
 - 2008年から戦略的に使いだし, 2011年からはAndroid (Linux) のみに
 - **今はAndroidを使う場合のOSSをベースに貢献など実施**
 - **Engineering Driven でのOpen Source**
 - **Open Source Officer の役割**
 - さまざまなギャップの橋渡し, OSS成熟度の向上
 - **Business Driven でのOpen Source**
 - エコシステムの指揮, OSSベースのプロダクトでのイノベーション

- Title : BoF: Open Source Compliance in the Supply Chain
- Speaker : Shane Coughlan, The Linux Foundation
- 概要
 - 実際はBoFとまでいかず, ShaneさんからOpenChainの話など



- **Title : Leveraging Open Source Projects For Open Source Management – Status Update**
- **Speaker : Marcel Kurzmann, Bosch Software Innovations**
- **概要**
 - **Open Source Management**
 - **エコシステムの立ち上げと維持**
 - **パラメーターとして:ライセンス, 技術, 開発**
 - **様々なツール:ToDo, SPDX, Fossology, など**
 - **Boschは2つのアプローチでOSSを活用**
 - **システムとしてOSSを活用**
 - **マネジメント面での改善とサプライヤー & パートナーとの協同 (OpenChain)**

- **Title : Promoting Greater Predictability in Open Source License Enforcement**
- **Speaker : Richard Fontana, Red Hat**
- **概要**
 - **ライセンス (文章) で共有のものが使われる意味。事実上、ライセンスが標準化されているメリット**
 - **ライセンス解釈の不確実性の低減, など**
 - **一方で、リーガルリソースの共有につながっていて、結果、一つの裁判事例が他にも影響するリスク**
 - **そのようなリスクを低減する取り組み**
 - **E.G. GPL Cooperation Commitment**